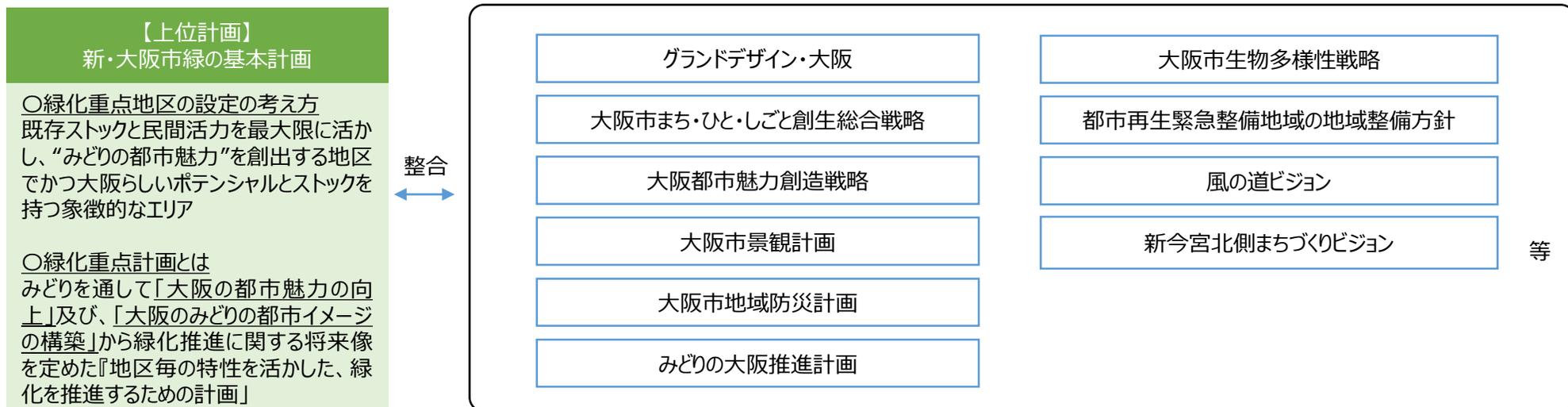


2. なんば・天王寺・あべの地区における関連計画



グランドデザイン・大阪 [2012.6月：大阪府市統合本部会議]

- 世界（関空）と直結、大阪らしい食の文化とにぎわいを活かす
- 短期の取組み
 - ① 日本一の近鉄ビル・あべのハルカス
 - ② 世界一の都市型動物園をめざす天王寺動物園
- 短・中期の取組み－難波駅前のみどり化、なんば～あべの一体化

大阪市景観計画 [2020.10月施行開始：大阪市計画調整局]

- 大部分が都心景観形成区域※1に指定。また、一部は上町台地景観配慮ゾーン※2に指定。
- ※1と※2を満たす区域の景観形成方針：坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成

大阪都市魅力創造戦略2025 [2021.3月：大阪府市都市魅力戦略推進会議]

- なんば駅周辺における空間再編推進事業、天王寺公園・動物園の魅力向上、大阪市立美術館の魅力向上
- なんば駅周辺道路空間の人中心空間への再編、天王寺公園・動物園の官民連携等による地区全体の集客力・ブランド力向上

2. なんば・天王寺・あべの地区における関連計画

■ 第2期大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 [2020.3月：大阪市政策企画室]

- 難波周辺は、だれもが安心して訪れ、歴史や風情を楽しめる環境づくりを進め、商業・観光エリア「ミナミ」としての再生をめざす。
- 取組：なんば駅周辺道路空間再整備

- ・ 市民、観光客をはじめ、だれもが安心して訪れ、その歴史や風情を楽しむことができる環境づくりを進め、難波周辺を商業・観光エリア「ミナミ」として再生します。
- ・ 大阪のメインストリートである「御堂筋」の起終点として、なんば駅前において人中心の空間への再編を進め、新しいまちのシンボル空間を創出します。

■ なんば駅周辺道路空間再整備

なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間の創出を図ります。

なんば駅前広場（再整備検討箇所）



なんば駅前の現況



なんば駅周辺道路空間再編
社会実験 (H28.11) の様子



なんば駅前の将来イメージ



2. なんば・天王寺・あべの地区における関連計画

■第2期大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔2020.3月：大阪市政策企画室〕

- 天王寺・阿倍野地区は、多様な観光資源の魅力向上やそれらの回遊性の向上、良好な景観形成をはかることで、新たな都市魅力を創造する緑あふれる文化観光拠点をめざす
- 取組：天王寺公園の魅力向上（天王寺公園、天王寺動物園、大阪市立美術館）、あべの筋の路面電車軌道敷の芝生化

・天王寺・阿倍野地区は、多様な観光資源を有する大阪の南の玄関口であり、その強みを活かし、地区の核となる天王寺公園・動物園・美術館の魅力向上並びに、回遊性の向上や良好な景観の形成を図ることで、新たな都市魅力を創出する緑あふれる文化観光拠点をめざします。



■天王寺公園の魅力向上

天王寺公園を核とした天王寺・阿倍野地区の魅力発信・集客促進に取り組みます。

- ・天王寺公園
官民連携等により、公園の新たな魅力を創出し、歴史・文化・自然が一体となった公園として、多様な人々が憩い楽しめる、大阪の南のシンボルになることをめざします。
- ・天王寺動物園
平成28年10月策定の『天王寺動物園101計画』に基づき、動物園の改革・改善を継続的に実施し、大都市大阪にふさわしい魅力あふれる動物園をめざします。
- ・大阪市立美術館
美術館の抜本的な改修を行い、現代の美術館に求められている機能の確保を図り、美術館の魅力向上につなげます。

天王寺公園エントランスエリア (てんしば)



天王寺動物園101計画による施設整備イメージ



■あべの筋の魅力づくり

あべの筋（あべのターミナル周辺）の路面電車軌道敷を芝生化するとともに、地域住民の安全にも配慮しつつ快適な公共空間を構築します。芝生化後のマネジメントについては、民間の活力を活用しながら持続可能な仕組みづくりをめざします。

芝生軌道（あべのキューズモール前付近）



大阪市立美術館



2. なんば・天王寺・あべの地区における関連計画

■ 新今宮駅北側まちづくりビジョン [2020.9月：大阪市浪速区役所]

本計画は、新今宮駅北側エリアにおいて、観光・にぎわいづくりの視点から、まちづくりの将来像を示したもので、「訪れてよし・住んでよし」をテーマに楽しく観光・回遊できるまち、共にくらしチャレンジできるまちを目標に、快適な歩行者空間の創出、もてなし環境づくり、賑わい・憩い空間の創出などの方向性を示している。

「新今宮駅北側まちづくりビジョン」の概要

新今宮駅北側まちづくりビジョンの対象範囲
及び「まちづくりの方向性」に示す主な取組実施箇所

まちづくりビジョン対象範囲



通りの性格付け

なんばや天王寺・阿倍野とつながる「交通軸」として整備する動線

新たな施設整備に伴い、歩行者交通量の大幅な増加が想定される動線。
なんば方面、天王寺・阿倍野方面とつながる「交通軸」として新たに設定し、歩行環境の改善や沿道への賑わい創出に取り組む。

駅周辺の賑わいをつなぐ動線

大田町駅・東美田町駅、東美田町駅・動物園前駅間において、新線道路沿道の店舗の賑わいが連続する動線。

地区外とつながる回遊動線

沿道に一定程度の店舗が集積し、地区外とつながり、地域住民・来街者の双方が楽しく回遊できる動線。

地区内の主な通行動線

学校への通学ルートとなり、地域の住民や子ども達が日常的に利用する動線。

3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■ 社会実験「なんば駅周辺における道路空間再編のための社会実験」の実施

なんば駅周辺の歩行者空間化の実現に向けて、平成28（2016）年に引き続き、なんば駅周辺の交通荷捌きや運用の安全性、歩行者空間の利活用を検証するための社会実験を令和3（2021）年に実施した。



出典：大阪市HP

3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■ なんば・天王寺・あべの地区における民間施設の緑化

《あべのハルカス》



《あべのキューズモール》



飲食店と緑地の関連利用を計画したガーデンエリア (4階屋上)

《なんばパークス》



《阪堺電気軌道上町線の軌道敷》



《なんばセントラルプラザバーガーデン》



出典：都市緑化機構HP、天王寺区HP、東急不動産HP

3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■天王寺公園エントランス広場「てんしば」「てんしばi:na」などの整備

「天王寺動物園ゲートエリア魅力向上事業」において、天王寺動物園てんしばゲート、てんしば i:naを開業。



【てんしば、てんしばi:na位置図】



てんしば



てんしばi:na (イメージ)

《天王寺動物園ゲートエリア魅力向上事業》「てんしばゲートエリア」を、天王寺公園や動物園エリアの魅力と相乗させる新たなにぎわい拠点として再整備し、併せて「動物園エリア」において、コンテナショップやベビーカー貸出などの園内サービス事業を実施することで、公園内のサービスの質・機能の抜本的改善に取り組むもの。動物園の魅力や来園者の満足度を高め、公園・動物園ひいては天王寺・阿倍野地区全体のさらなる魅力向上を図るべく、事業者である近鉄不動産株式会社と官民連携で取り組んでいる。